

はえばる議会だより

「ギカイ」ってどういうところ？
小学生の議場見学 P2

3月 6月 9月 12月

令和7年12月定例会

NO.232

令和8年2月17日発行

次回定例会の開会予定
3月3日(火)
午前10:00



表紙写真

見本を検索、年賀状づくり

- 子ども1人2万円支給(補正予算) P4
- マイナンバー窓口業務委託 賛否分かれる P6
- 15人全員が一般質問 P8

沖縄県
南風原町議会HP



題字: 北丘小6年生 工藤 粹さん

令和7年度JA共済全国小・中学生書道コンクール 農林水産大臣賞 受賞者



はえばる議会だより

NO.232

沖縄県南風原町議会ホームページ
https://www.town.haebaru.lg.jp/life/5/24

発行 沖縄県南風原町議会
編集 議会広報常任委員会

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地
TEL (098) 889-3097 FAX (098) 889-4499
印刷/有限会社ドワーフ印刷



現在、小6長男と小4次男がチームに所属しています。子ども達が入部して早4年、次年度は監督に内定し、前任の監督を見習って頑張りたいと思っています。来年度の新しいチームは高学年が少なく、その分それぞれの保護者の協力が今以上に必要になります。送迎はもちろん、会場設営、審判、コーチと様々な役割が

ありますが、子ども達の大切な試合や経験をできるだけ参加させてあげられるように一緒に取り組んでいきたいです。南風原町では毎年、名古屋グランパスのキャンプがあり、子ども達とふれあう機会があります。プロ選手を身近に感じたり、直接指導してもらったりと、とても恵まれています。また黄金森陸上競技場も、年間を通してプロレベルの芝が整備され、月に一度は、町内4小学校チームはもちろんです。他市町村のチームを招待しての試合ができるなど、環境もとてもいいと感じています。今後計画されている町民体育館にも、フットサルコートも整備して頂き、現在ある高架下のコートと合わせて、フットサル大会が開催できるような環境整備をぜひお願いしたいです。



グランパスとの交流



サッカーやフットサルはもちろん、色んなスポーツや活動に取り組める環境を、行政や議会の皆さんには考えてほしいです。私たち保護者も頑張りますが、ぜひ子ども達の笑顔と夢、明るい未来のために、これからもよろしくお願います。



これからも
子ども達に夢と未来を！

翔南サッカークラブ次期監督
金城 博紀(山川在)

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先: 議会事務局 TEL.889-3097 FAX. 889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集室より

私達広報委員会の6名は担当職員1名と共に、年4回の定例会議毎に発行するこの議会だよりに如何に多くの町民の皆さんに関心を持って読んで頂けるかに腐心しています。例えば、子ども達・女性・高校生・移住者・社会的弱者・事業所の方々をテーマに委員が手分けで直にインタビューし、そのお声を届けてきました。テーマ毎の表紙の写真、裏表紙の町民の声、この編集室よりも毎回委員が交替で役割分担しますが、一年半に一度役割が当たらないお休みがあり、「ラッキー」と喜ぶのです。国会図書館では漫画を含む全国からの刊行物が所蔵されており、この議会だよりも南風原町の広報、社協のちむぐくと共に毎号を届けております。各自自治会、経由で町民に届けられる他、6名の委員が手分けで町内44ヶ所の事業所やコンビニ等に届け置かせて頂いております。皆様のご感想を歓迎いたします。(担当/岡崎晋)

南風原小学校6年生 議場見学
町内学校の見学大歓迎です。
希望する場合は議会事務局まで。



「ギカイ」ってなに？

小学生の議場見学

開かれた議会を目指して 議場見学

南風原町議会は、開かれた議会活動の一環として、町内小学生の議場見学を受け入れています。

令和7年は南風原小学校（5月7日）と翔南小学校（5月20日）の受け入れを行いました。

受け入れの際には議場で実際に椅子に座って、マイクやカメラを使って議長に質問するなど、楽しみながら見学を行っています。

また、議員が委員会室や傍聴席などを案内しながら、議会や委員会の流れ、町長と議会の関係性のお話などを行ったり、実際の会議の様子など説明を行いました。

これから町議会を身近に感じてくれて、一緒に南風原町をつくっていただけると嬉しいです。

見学の後、子ども達からいただいた感想をいくつかご紹介します。

子ども達の感想

- ・町全体のお金は200億円使っていることがわかりびっくりしました。
- ・議員は1年ぐらいだと思っていただけ、4年も働くことがわかりました。
- ・病院を子供は無料にしてくれてありがとございます。
- ・こんなに勉強になる体験は初めてです。
- ・子供も、こども計画で意見を言えることを知りました。
- ・議員は30人、50人ぐらいだと思っていただけ、16人しかいなかったのびびっくりした。
- ・税金で公園や学校を作ったりしていることを知り、大切だと思いました。

開かれた議会を目指して 議場見学

津嘉山小は体育館 2F ピロティエを、教室にするとすると、心配なことがあります。今もそこで、授業をすることがあり、体育館と隣あわせて、体育館の音が響きます。防音された教室にならないと、授業が心配になります。また、渡り廊下を歩いて教室へ行く事になりますが、雨の日は横から濡れてしまわないか、気になりました。

今回インタビューで、税金が学校に使われてるんだと、実感することができました。

新しい教室が、不便にならない様にしてもらえたら、みんな勉強を頑張れると思います。



さら 内間彩空さん 津嘉山小5年

小中学校教室等改修工事 事業費 1432万円

小学校2クラス（津嘉山小・北丘小）、中学校1クラス（南星中）を増やす改修工事です。クラス増については、児童生徒が集中して学習できる環境整備に取り組むよう要望しました。



LINE周知マグネットシート作成 事業費 11万円

公用車を活用し、町の公式 LINE を周知するためのマグネットシートを作成します。今後も LINE 登録者数を増やす努力をするように要望しました。



LINE の登録はこちらから

投票箱

町長選挙 選挙公報印刷業務 事業費 280万円

令和8年4月に実施予定の町長選挙における選挙公報印刷業務等の契約を令和7年度で行うための債務負担行為の計上です。

マイナンバー窓口業務委託準備 事業費 204万円

現在は会計年度任用職員6名で行っているマイナンバー窓口業務を、令和8年度より窓口業務を委託するための予算であると説明がありました。

この事業は本会議の中でも賛否が分かれました、詳しくは次のページに掲載します。



条例の改正で何が変わるの？

◇南風原町職員の給与に関する条例の一部を改正 他2条例（国の人事院勧告等により）

- ・ 職員の給料月額 8300円 ～ 12400円 の増額
- ・ 職員と会計年度任用職員 賞与 年間 0.05 月分増額、通勤手当の改正
- ・ 三役（町長・副町長・教育長）・議員 賞与 年間 0.05 月分増額
- ・ 今回の条例改正に伴い、給与等の予算 1億782万円 増額



第4回 定例会

12月9日から19日までの11日間の会期日程で開催されました。提出された議案は審議の結果、全て原案のとおり可決されました。今回の議会で可決された予算や条例、交わされた討論等をご紹介します。

補正予算で行う事業

物価高対応子育て応援手当 事業費 2億1061万円

物価高の影響を受けている子育て世帯への国の支援策として、児童手当を受給している0歳～18歳までの子育て世帯に対し、子ども1人当たり2万円を支給します。3月以降の振込予定です。



わたしは、足が速くなりたいです。走り方や体の使い方を教えてもらえる運動の時間がほしいです。いろいろなスポーツができる遊び場も増えてほしいです。おかしや飲み物も高くなっているの、物価が安くなったらうれしいです。大人が見守ってくれる居心地のいい場所が町にあったらいいと思います。

転校生が来たときに、早く友だちになれるよう、授業の中で交流できるイベントを増やしてほしいです。町の特産品を使って、カボチャやヘチマを育てたり、かすりの体験もしてみたいです。公園やお祭りがあり、遊ぶ場所は満足しています。学校ではパソコンやプログラミングの時間をもっと増やしてほしいです。



宮城ふうかさん 津嘉山小6年



宮城はるじょうさん 北丘小5年

戸籍システム・ブックレスクラウド利用料 事業費 3734万円(4年半分)

戸籍システムの電子化に伴い、クラウドサーバーを利用するための債務負担行為です。これは国の方針であり保守委託等は、現在の費用より高くなりますが業務の利便性は高まります。



学童ドッジボール沖縄大会で2位になり、沖縄代表で竹の子学童バンブースhootが九州大会で鹿児島県に派遣になりました。同時に、ドッジボールチーム・琉球ガールズ美らにも入っていて、全日本女子ドッジボール滋賀県大会にも出場しました。良い経験が出来ましたが、派遣費を集めるのもとても大変でした。

頑張っている児童の為に、南風原町も支援を増やして欲しいです。



Y・Sさん 津嘉山小5年

保育士等就職支援一時金 事業費 120万円



保育士を確保するため、1年目と2年目の保育士に対し一人あたり10万円を支給しています。受給者数は年々増加傾向にあり、令和7年度については92名の予定です。申請者には、全員に支給しています。



伊佐園恵議員

陳情・意見書の結果

陳情・意見書の結果は以下の通りです。
議員から意見書第8号、9号が提案されました。
全て全会一致で可決・採択されました。

決議・意見書
全文はこちらから



陳情第6号	高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回をもとめる陳情書	継続審査
陳情第12号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	採択
意見書第8号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書	可決
陳情第13号	令和8年度社会福祉施策及び予算の充実について（陳情）	継続審査
陳情第16号	最高裁判所判決に基づく生活保護行政の改善と対応を国に求める陳情書	採択
陳情第18号	有機フッ素化合物（PFAS）による汚染源の特定と根本解決を求める陳情書	採択
意見書第9号	有機フッ素化合物（PFAS）による汚染源の特定と根本解決を求める意見書	可決

継続審査・・・会期内で結論が出せないため、次回議会でも引き続き審査を行う

全国各地の議会を受け入れ

議会では全国各地からの行政視察の受け入れをおこなっています。

令和7年度は9カ所の視察を受け入れを行いました。議会広報の編集に関することや、mobilに関するなどの視察の申込みがありました。議会広報の取り組みについては、編集方法や重要視していることなどを報告し、意見交換を行いました。

日付	自治体名	視察内容
令和7年 6月 26日	宮崎県 都農町議会	mobilについて
令和7年 7月 1日	大阪府 茨木市議会	若年妊産婦の居場所運営事業
令和7年 8月 5日	千葉県 印西市議会	mobilについて
令和7年 10月 15日	北海道 共和町議会	特産品販売交流 等
令和7年 11月 4日	北海道 北広島市議会	南風原スケートボードパーク
令和7年 11月 13日	福島県 川俣町議会	議会広報の編集について
令和8年 1月 16日	岡山県 倉敷市議会	戦争遺跡の保存と活用
令和8年 1月 27日	茨城県 行方市議会	議会改革の取り組みについて
令和8年 2月 5日	広島県 廿日市市議会	子ども元気ROOM事業

マイナンバー窓口業務委託 賛否分かれる

マイナンバーに関する窓口業務は、現在は会計年度任用職員6名で行っています。令和8年度より窓口業務を委託するための補正予算が計上され、それに対する賛成、反対討論が行われました。

南風原町議会 (15)

12月19日(金)

賛成

14:40 玉城 陽平

賛成の理由は3点です。①現行の体制では業務が回らず、正規職員の負担が大きいため、②マイナンバー業務の増加や制度改正に対応するため、③他自治体の状況や国の法改正を踏まえ、外部委託が必要だと考えます。

賛成

金城 憲治

人口増加に伴い、窓口業務が増え、個人番号カード業務が煩雑化しています。このままでは職員の負担が増え、サービスが低下する恐れがあるため、外部委託することで町民サービスが向上すると考えます。業務委託により、待機時間の短縮や早期発行が期待できるため、賛成します。

反対

14:40 照屋 仁士

マイナンバーカード窓口業務の外部委託に反対です。今回の窓口業務は「恒久的な業務」であり、これを許すと役場業務が際限なく「外部委託」へと広がりがねません。また、試算や効率が客観的に全く示されておらず、業務内容、適正人数、実際の運用やそれに関わる費用などは説明されていません。

反対

24:55 大宜見 洋文

委員長報告でも長期間の委託業務になると言われましたが、この重要な議論が短期間で決まってしまうのは非常に不安です。十分な時間をかけて議論すべきだと考え、反対します。

26:35

QRコードから議会の様子が見れます。各議員の発言はコメントの時間のところで確認できます。

議案	採決の結果	玉城陽平	大城重太	當眞嗣春	西銘多紀子	伊佐園恵	大城雅史	岡崎晋	大宜見洋文	石垣大志	大城勇太	金城憲治	照屋仁士	浦崎みゆき	知念富信	赤嶺奈津江
議案第55号 南風原町一般会計 補正予算(第4号)	可決	○	○	×	○	○	○	退	×	○	○	○	×	○	○	-

○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席
-:赤嶺奈津江議員は議長のため採決に加わりません



赤嶺 奈津江 議員

北丘小校舎、修繕等計画は

答 大規模改造事業等の計画はしていない



問 北丘小校舎大規模改修から約10年経つ。当時の見解では10年に一度修繕等を行い、延命化を図るとしていた。現状と今後の計画はどうなっているか。

教育長 令和3年度の南風原町学校施設等長寿命化計画の策定時に、再度校舎の健全性の調査を行い躯体の強度上の問題は無いと判断した。本計画期間内において大規模改造事業等の計画はしていない。

問 当時の想定より劣化が進んでいるところはないか。

教育長 空調や水回り等の設備面で劣化が進んでいる箇所が見られる。今後計画的に修繕等を実施していく。

問 国との交渉により、早期の建て替え計画を策定することが望ましいと考えるがどうか。

教育長 校舎の耐力度調査の結果、建替えには該当しないとの判定により平成25年から

平成27年の3年間で大規模改修事業を実施した。校舎早期立て替えについて県へ確認したところ、現時点では該当する補助メニューは無いとの回答だった。

副町長 平成7年度よりワークプラザ南風へ粗大ゴミ回収業務を委託していたが、令和5年度から直営方式での回収へ移行している。課題は会計年度任用職員の確保が難しい場合、正規職員が代わって作業を行っており本来の業務に影響が出ている。委託にするかは検討中である。

問 粗大ゴミの対応はどうなっているか。委託は考えているか。

副町長 平成7年度よりワークプラザ南風へ粗大ゴミ回収業務を委託していたが、令和5年度から直営方式での回収へ移行している。課題は会計年度任用職員の確保が難しい場合、正規職員が代わって作業を行っており本来の業務に影響が出ている。委託にするかは検討中である。

問 資源ごみの処理に課題はないか。

副町長 現在、資源ごみの回収・処理業務を受託しているワークプラザ南風の作業場



カゴで出されている資源ごみ

問 指定ごみ袋をバイオプラステック製にすることで処理負担軽減になる。早期に行うべきだと考えるがどうか。

副町長 資源化処理工程の作業員負担軽減と、指定ゴミ袋のコスト増に伴う町民負担への影響など、検証が必要である。

《次のページから》

一般質問

行政に考えを聞く 政策提言

【一般質問とは】

議員が、町行政の執行状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行部に直接質問することです。

QRコードから各議員の議会中継が視聴できます。一般質問記事は質問議員が会議録から抜粋し、広報委員会によって編集されています。



 P9	北丘小校舎、修繕等計画は ・ごみ回収処理を問う
 P11	公共施設予約システム導入を問う ・夜間の学校警備の強化を ・津嘉山274-2番地辺りの安全対策を
 P13	北海道共和町と友好都市連携を ・兼城十字路にある電光掲示板の再開を ・通学路の安全柵設置を ・大名地区の市街化区域編入を
 P15	字の御嶽に説明看板の設置を ・二次避難所に直接避難を ・町長選挙の選考方法は
 P17	緊急修繕道路工事登録業者はあるか
 P19	安保法制制定10年と自衛隊を問う
 P21	「SRHR」について深く知ってほしい
 P23	防災計画 断水被害想定は ・災害支援に女性視点を ・学校給食の地産地消を

 P10	次期町長へ町政課題はどう引継ぐか
 P12	断水事態で防災無線放送 広報は十分か ・不登校対策を問う
 P14	南風原町の少年非行の現状を問う ・タブレットでの電子投票の導入を ・花・水・緑の大回廊公園の修繕を
 P16	宮平川氾濫対策は
 P18	農福連携をどう実践するか ・有機・自然栽培野菜を給食へ
 P20	おむつ替えや授乳のできる設備を ・路面下の空洞調べ早急に ・高齢者支援の充実を
 P22	防災無線の課題と伝達手段を問う ・不登校児童の学びの保障を ・地域づくりに取り組む協力団体へ支援を



照屋 仁士 議員

次期町長へ町政課題は どう引継ぐか

答 計画どおり進めて頂きたい



問 11月7日赤嶺町長は会見を開き、「次期町長選挙へ不出馬、後継は町商工会長」と報道があった。どのような手法、経過で後継者を選ばれたか。

町長 意中の4名それぞれ相談し、一人前向きな返事があり、それを尊重した。

問 その過程で本人もしくは推薦、第三者からの意見等も取り入れたか。

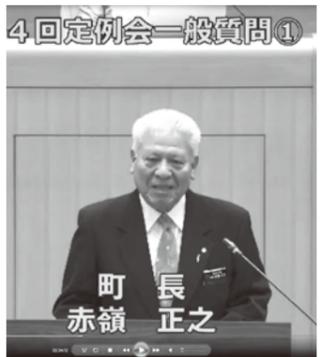
町長 それはない。私が直接4人に相談した。

問 答弁からすると関係者との事前協議はなく、後継を決めた後の事後説明と取れる。町長を支持する与党議員は何名で、そのうち何名に説明されたか。

町長 相談をした議員は9名だった。

問 町長選挙での推薦団体、政党等もあるが、相談だった説明されたか。

町長 政党、団体には相談していない。



自ら答弁する町長

問 後継の金城氏、人格をどのように把握されているか。行政経験がなく不安という声もある。町長には行政経験は必要ないということか。

町長 商工会長と町長という付き合いがある。知人・友人として約30年近くの付き合いがある。人物的にどんな人かが大事かと思っている。

問 赤嶺町長は、国政与党のみを支持してきた。金城氏の支持政党はどうなるか。

町長 保守寄りと感じる。自分のスタンスは決めて頂きたい。

問 町政課題について、町民体育館はどのように引継ぐか。

町長 計画どおり進めて頂きたい。

問 次に大きな事業で区画整理事業、どう引継ぎされるか。

町長 行政は継続だ。計画通り引き継いで頂きたい。

問 赤嶺町長は後継が争う町長選挙にどう関わるか。

町長 後援会長として関わる。

問 選挙後も気になる。赤嶺町長自身の政治活動はどうなされるか。

町長 政治活動から一線を画し、字宮平の為とか、そういうものを考えてみたい。

公共施設予約 システム導入を問う

答 来庁せずに施設を利用できる



問 これまでのシステムとの違いと導入についての良い面を問う。

副町長 今回のシステムはオンライン上で予約からクレジット等での支払いが可能となる。リモートロック機能により体育館等の施設や解錠を利用者自身で行うことができ、来庁せずに施設を利用できるメリットがある。

問 インターネット予約に慣れていない方への対応を問う。

副町長 システム導入時には、予約方法などシステム利用の説明会の開催と、稼働後もペーシジ上に操作ガイドを掲載

し、電話、窓口で職員が説明を行いたいと考える。

問 予約受付業務の効率化を問う。

副町長 システム上で予約から支払いまで完了するため、許可証や納付書の発行など事務作業の軽減が期待できる。

夜間の学校警備の強化を

問 本町内の幼稚園、小学校及び中学校の夜間において学校警備の現状を問う。

教育長 町立幼稚園、小学校及び中学校の夜間においては機械警備を行っている。



大城 雅史 議員

問 機械警備に移行する中で巡回警備、地域と連携した防犯対策があると思うが、今後の町の方針は、どういう形で警備を行っていくか。

学校教育課長 現在の警備内容と、議員から提案のあった手法も踏まえて費用対効果等、総合的に判断し、安全安心な教育環境の整備に努めたいと考えている。

津嘉山274-2番地 辺りの安全対策を

問 近隣住民より、同場所の



水はけの悪い排水溝

近くの交差点は、優先道路の案内がなく危険箇所である。通学路になっており先日「ヒヤリ・ハット」の事例があったと聞いている。早めの対策をお願いしたいがどうか。

副町長 路面標示による安全対策が有効と考えており早めに対応していく。

問 同場所の排水溝があり、水たまりができ水はけが悪い。雨天時はずっと水がたまっている状態になっている。早めの改善をお願いしたいがどうか。

副町長 排水機能不良であることを確認した。現場に即した対策を検討し早期に対応する。

断水事態で防災無線放送 広報は十分か

答 聞こえなかったという声がある



岡崎 晋 議員

問 昨秋の断水事態で町民への主体的対応者は本町か、南部水道企業団（以下、南水）か。防災無線放送は聞き取れず、広報が十分でなかった。この放送を各字の放送設備と連携すべき。与那原町のLINE登録者は7割、本町はどうか。
町長 町民への主体的対応者は南水である。放送が聞きにくいという声は実際にあり、スピーカー音量調整等するが、その使用目的から各字との連携は考えてない。88915531の聞き逃しサービス整備等を更に進める。本町のLINE登録者は4905人で全体の約1割である。



新川にある貯水タンク

問 緊急時の適切な情報伝達は行政の重要責務で、防災無線は連携すべき。LINE登録者をどう増やすか。町長は

南水の理事である。本町の貯水量は何時間分か。水道管老朽度と更新計画はどうか。
町長 LINE登録者が少ないのは大きな課題で、増やす努力をする。貯水量は新川配水池が7時間、新川第二配水池13時間、津嘉山調整池が10時間である。水道管の耐用年数40年超は最長13年、基準超は全体の15%、基本計画に基づき国庫補助を活用し更新事業を進めていると南水に確認した。

不登校対策を問う

問 文科省調査で令和5年度

の小中学校の不登校率は全国3・72%、沖縄4・65%で増加率も一番高い。本町の現状と対策の効果・課題はどうか。
学校教育課長 今年10月末、全町で小学校60名1.8%、中学校73名4.8%。相談員やカウンセラー、ソーシャルワーカー・自立支援・適応指導員等を配置し、昨年は小学校4640回、中学校829回の利用で小学校19名、中学校27名が学校復帰に繋がった。不登校要因は多様で、支援が届きにくいことが課題である。

問 子ども達が先生を好きになることがまず第一で、先生は元気でいて欲しい。先生への支援はどうか。
教育長 学校大工や相談員・支援員等の配置、留守電導入等してきた。南風原町の宝である子ども達の育成には、是非、先生方が元気である必要がある、今後も十分配慮していく。

北海道共和町と 友好都市連携を

答 教育的効果や実施体制を研究する



知念 富信 議員

問 北海道共和町と友好都市連携を。小中学生の相互交流事業で文化交流、雪体験、民泊等の体験学習の交流事業を導入できないか問う。
教育長 小中学生の相互交流事業については、教育的効果や実施体制、財源等を含め検討する。

問 国内の小中学生交流事業が中止になった理由を問う。
教育長 徳島県つるぎ町と小中学生交流事業を4年間実施していたが、民泊等の受け入れの課題があり、平成29年度以降は中止になっている。

問 共和町から令和10年度に道の駅が完成するので、本町の特産品との交流事業の申し出がある。経済活性化事業として取り組めないか問う。
副町長 町商工会、JAおきなわ両支店等、町内関係団体や町内事業者の意向も踏まえて情報収集を行う。

兼城十字路にある 電光掲示板の再開を

問 電光掲示板は長年放置された状態にある。公共掲示板として再設置できないか問う。

副町長 電光掲示板企業広告の会社にヒアリング等で既設の電光掲示板に取り付ける形での整備を検討している。

通学路の安全柵設置を



安全柵のない歩道

問 大名交差点から北丘向け両側は通学路であるが、歩道に安全柵がなく危険であると町民から設置の要望がある。早めに設置できないか問う。
まちづくり振興課長 令和5年度に北丘小学校周辺地区として、生活道路安全対策の計画書を協議会で策定して実施に移しているが、次期の計画書で検討する。

大名地区の市街化区域 編入を

問 大名地区は南風原バイパスの完了に向けて都市部に近く開発が期待される地区であり、市街化区域編入に向けて調査検討すべきではないか問う。

副町長 大名地区は市街化調整区域内だが住宅立地緩和区域なので、住宅建築が可能な区域であり、市街化区域編入には、区域区分の見直しの厳しい基準があり大名地区は合致しておらず難しい。



大城 重太 議員

南風原町の少年非行の現状を問う

答 令和6年の補導人数は137人だった



問 南風原町における少年非行の現状はどうなっているか。また、それに対応するための地域や行政の取り組みを行っているか。

教育長 本町における令和6年中の状況は、不良行為を行った少年の補導人数が137人となっている。これに対応する取り組みとしては、青少年の被害・非行防止町民大会の開催や、町青少年協・中学校PTA・地域有志による夜間街頭指導などを行っている。

問 令和5年より15件増えている増加傾向にある。私も保護司やPTAの立場で夜間パトロールを行ったりしているが、それだけでは実態が把握できないというのが現状だ。ここでこそコミュニケーション・スクールの力の見せ所だと感じている。学校運営協議会を中心に、地域と学校、関係機関がもつと深く情報交換をする必要があると思うがどうか。

学校教育課長 学校運営協議会においては、児童生徒の問題行動は委員に情報共有していると報告を受けている。

問 過去に行っていた教育懇談会をこういった時だからこそ開催して、学校、地域、社会教育団体、関係機関が意見交換、情報交換をしてはどうか。
生涯学習文化課長 非常にいい意見だと思う。参考に研究して実施に向けて取り組んでいきたい。

タブレットでの電子投票の導入を

問 投票作業の時間短縮や集計作業の負担軽減、疑問票、無効票をめぐり疑義の解消を目指し、タブレットを用いた電子投票を導入してはどうか。
総務課長 効率化が図られる点では調査をする必要があると思う。電子投票制度にかかる費用や補助金等も調査した

花・水・緑の 大回廊公園の修繕を

問 駐車場を囲むフェンスや公園内を通る河川の防護柵が腐食して危険な状況である。早めの取替えを要望するがどうか。



公園内を通る河川の防護柵

副町長 公園施設長寿命化計画に基づき、河川を囲む防護柵及びフェンスは令和8年度に、駐車場を囲むフェンスは令和10年度以降に更新を予定している。

字の御嶽に 説明看板の設置を

答 研究していく



二次避難所に直接避難を

問 御嶽には様々な歴史がある。字の御嶽で御嶽を回っているが、この拝所がどういった経緯で作られたのか、なかなか分からない。歴史を振り返って、次世代に残せるように、御嶽に説明看板の設置が出来ないか。

問 災害時の二次避難所は福祉避難所とも呼ばれる。一般的に一次避難所では、受け入れが難しい、高齢者や妊産婦、医療的支援が必要な方を事前に把握し、直接二次避難所に避難するような体制が必要だと思う。災害時の際は、介護食やミルク、医療的配慮が必要な方には機器も把握する体制作りが必要だと思うがどうか。

総務部長 災害が起こった際、一時避難所、指定避難所へ避難。その後、福祉避難所の調整及び設置が完了次第、福祉避難所へ避難の流れとなつて



大城 勇太 議員

いる。すぐに福祉避難所へという状況も必要性は感じている。関係課と検討していく。



災害時の避難イメージ

町長選挙の選考方法は

問 町長選挙の選考方法はどのように行われたか。
町長 私が打診して決めた。
問 町長を支える町議団は「聞いていない」「誰も聞かされていない」と議員団を無視して決めた話も出た。それについてどう思うか。
町長 あくまでも町民が決める選挙で町長は決まる。
問 選考委員会を開く、そして候補者を選ぶ、その方法が私一般的なやり方じゃなかったのかなというふうに思うが、選考方法は正しかったと断言できるか。
町長 正しかったと思っ

宮平川 氾濫対策は

答 排水ポンプ設置と断面改修を行う



問 宮平川氾濫対策について、内水氾濫対策の取り組みについて具体的な内容を問う。

区画下水道課長 R6年度の調査で対策方法を検討した結果、雨水排水ポンプの設置と排水溝の断面改修を行う計画で今後の予定としては、R10年以降に整備工事を予定している。

問 雨水排水ポンプの具体的な機能や規模感など問う。

区画下水道課長 昨年の調査で候補として挙げたのが、横軸水中ポンプであり、どのような水位でも雨水のはき出し可能なポンプとなっている。イメージとしては道路下の中

にピットを造り、その中に雨水排水ポンプを設置する形となり、新たな用地買収はなく、事業費も抑えられる計画となっている。ポンプの容量は、今回3か所に設置する予定で、ポンプのはき出し容量が①約97立米②約78立米③約52立米、それぞれ1分間ではき出す容量の大きさとなる。

問 過去の答弁でも当該地区は住宅街で、道幅も狭く、様々な条件があったが全てクリアできるという認識で良いか。

区画下水道課長 宮平地区の地形や土地の活用状況等様々な要件を検討した結果、貯留管



石垣 大志 議員

や貯留池などはかなりハードルが高かった。整備に向けての実現性も低いことから、今回採用予定の雨水排水ポンプ設置の計画となった。



宮平川の内水氾濫

問 緊急浚渫推進事業が令和11年度まで延長された。河川容量を常に確保する必要がある今年度の浚渫事業実施はいつか。

都市整備課長 浚渫については、契約が12月1日に締結済みで、工期は令和7年12月2日から翌年3月16日となっている。

問 合わせて要望するが、合流する国場川は、まだまだ堆積した土砂が解消されていない。本町がいくら頑張っても国場川の河川の流れが悪ければ、宮平川に影響が出る。国場川の浚渫事業についても要望を行ってほしいがどうか。

まちづくり振興課長 国場川の浚渫については引き続き要望していく。

一こんな質問もしました
・学校給食の量や品数に関する満足度について問う

が、緊急修繕道路工事登録業者はあるか。

副町長 緊急修繕道路工事登録業者の制度はないが、災害時や緊急対応を要する場合において「災害時における南風原町商工会建設部会との応援協定書」を締結している町内業者等と連携し迅速に対応している。

問 今後、登録事業者制度を是非取り入れて頂きたいと思うがどうか。



復旧完了

都市整備課長 ご提案の制度も含めて道路の維持管理等については、様々な手法があると思う。引き続き有効な手段や、良い事例を調査研究していきたい。

緊急修繕道路工事 登録業者はあるか

答 本町にはない



金城 憲治 議員

問 本町の道路維持管理は、どのように行われているか。

副町長 日常の巡回パトロールと道路利用者からの情報提供により道路の異常を把握し、緊急性や危険度から優先順位をつけて、応急または恒久的な対策を行っている。

問 年間、どれくらいの補修とか修繕が行われているか。

都市整備課長 修繕は小さいものも含めると100件を超える件数になる。また100件のうち業者をお願いするのが30件程度、それ以外の70件程度については、すぐやる班とか私どもの直営で抱えている人員で対応している。

問 道路を維持管理していくうえで、課題は何か。

副町長 道路の異常をいかに早期に発見するかが課題である。

問 危険を早めに察知するという観点からすれば、新設の



道路陥没復旧工事(本部公園南側道路)

問 道路においては、災害や劣化による道路の陥没や亀裂、段差など、緊急の修繕を要する場合があると思われる



大宜見 洋文 議員

農福連携を どう実践するか

答 情報提供や相談支援、地域実情に合わせる



問 農福連携等推進ビジョンに掲げられた取組を官民挙げて実践すると概要にあるが、本町は農福連携を具体的にどう実践するか。

町長 情報提供や相談支援、地域実情に合わせた取り組みの推進が主な役割で、そのように進めている。

問 農福連携推進ビジョンには農福連携に取り組む主体数を1万2千以上、地域協議会に参加する自治体を2百以上と目標設定している。本町は地域協議会という組織に参加する考えはないのか。

町長 福祉事業所であれば福祉事業所の声の高まり、農家であれば農家の声が高まったときに、我々であったり農業関連団体がこの声を取りまとめて立ち上げるのが協議会だ。声の高まりという部分ではまだそこまでに至っていない。



生成AIのユニバーサル農業のイメージ

問 ユニバーサル農園とは何か。

町長 子どもから高齢者までの世代や障がいの有無を超えた多様な方々を対象として、農業体験活動を通じた交流・参画、健康増進、生きがいづくり、職業訓練、立ち直りなど多様な社会的課題の解決につながる場の事である。

問 既に本町の自然栽培農家の畑に、平日や週末問わず、朝早くからボランティア作業に、町内外から多様な方々が訪れている。ユニバーサル農園に当てはまると思うが、こ

れは規模が小さいから認められないのか。

町長 その情報は初めて聞いた。ユニバーサル農園を町が認定するものではない。

有機・自然栽培野菜を給食へ

問 学校給食で有機・自然栽培野菜を利用する自治体を調査する取り組みが2020年から毎年実施されている。調査はしているか。

町長 令和2年度から有機農業の推進状況調査により利用状況の調査が行われている。

問 5千食準備できて、質も担保できたら大丈夫という答弁だった。今後栄養士と情報交換をしたいが可能か。

教育長 5千7百食供給、品質、価格面等の条件面がクリアできるのであれば今後栄養士とメニューと合わせて調整は可能だ。

安保法制制定10年と 自衛隊を問う

答 国の専権事項であり賛否を述べる立場にはない

問 令和5年の3月議会と6月議会で「安保三文書」に対する、私の質問に対して「国の安全保障に関する重要な文書」と答弁したが、その認識は現在も変わりはないか問う。

副町長 安保三文書に関する認識については、変わりはない。

町長 第5条には日本の防衛義務は明示されていない。日本の防衛ではなくて、米国の利益を追求するための手段ではない。



発射試験を行う12式地对艦誘導弾能力向上型(防衛装備庁提供)

町長 私は守られてはいないと思っていないし、じゃあしっかりと完璧に守られている



當真 嗣春 議員

かというところ、そうでもないだろうと思っている。私の立場としては、それは断定できない。

問 高市首相の「台湾有事は存立危機事態」答弁は、1972年の日中共同声明、1978年の平和友好条約、2008年の戦略的互恵関係の共同声明、2010年の日中関係の改善に向けた話合いに反する内容である。高市首相の答弁に対する町長の見解を問う。

一こんな質問もしました
● 第5次南風原町総合計画後期基本計画について

町長 議員が述べられたことに関して、私としては、それはしっかりと検証もして、答弁もすべきだと思っけれども、その辺りは見解の相違もある。私としては承知していないし、検証もしていないので、総理大臣のおっしゃったこともニュースで知っている範囲なので、その件に関しては、また答弁は控えたいと思っっている。

おむつ替えや授乳のできる設備を

答 授乳室の設置の導入を進める



浦崎 みゆき 議員

問 本町の施設に赤ちゃんのおむつ替えや授乳のできる設備はあるか。

副町長 ちむぐくる館には授乳室が1室、おむつ替え用ベビーベッド1台を設置している。おむつ替え用の設備は庁舎1階・中央公民館の1階多目的トイレ・ちむぐくる館の多目的トイレに設置している。

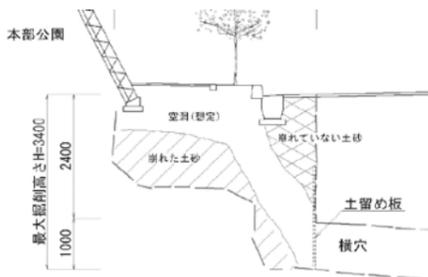
問 授乳室は、移動できるような小型の個室型もあり検討していたがどうか。
総務部長 現状に合った移動式の提案もあり、調査研究する。

路面下の空洞調べ
早急に

問 町道29号線（本部公園付近）の状況を問う。

副町長 歩道の植樹帯から車道下にかけて空洞を確認し直ちに通行止めとした。陥没の原因は壕によるもので、横方向に長く全容の把握が困難の為、土砂の流出を防ぐ土留め板を設置し、土砂を埋め戻した。

問 町道25号線、南風原中学校（歩道の通行止め部分）の状況を問う。



町道29号線の状況

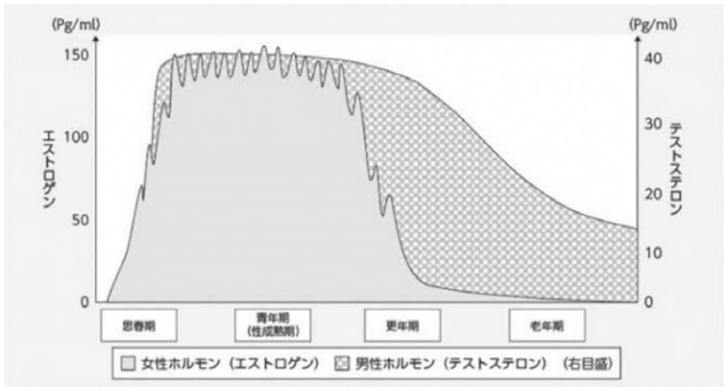
副町長 歩道部分に約15センチの沈下を確認し、通行止めを行った。沈下の原因は、地下水によってアスファルト下の土砂が流出したと考えられ、対策として土砂をセメント改良した上で埋め戻しを行っている。

「SRHR」について深く知ってほしい

答 町でも広報していく



伊佐 園恵 議員



女性はグラフのギザギザが激しい。男性よりも、ストレス等で心と体に10歳ごろから、不調をきたしやすい

問 南風原町の皆さんにも、SRHR（読み方：エスアールエイチアール）について深く知ってもらいたいが、その柱は何か。
副町長 SRHRの柱は、「性の健康、生殖の健康、そしてそれらを自分で決める権利」である。

問 ジェンダー平等についての取り組みは、どのようなものがあるか。
副町長 まじゅんプランの理念である「すべての人が互いに認めあい、共に支えあう、黄金南風の平和郷」の実現に向け、男女共同参画の推進や啓発、多様性の尊重を進めている。

問 「SRHR」は、1994年に国連が主催、国際人口開発会議で採択された。様々な差別や、不利な立場に置かれている女性や少女、またすべての人たちが「自分で選択できること」が解決の糸口になるとしている。「生理痛は我慢する時代ではない」や「公衆施設での搾乳室の設置」もその一部になる。静岡県富士市のように公式HPにまとめ、本町でも掲載可能か。
国保年金課長 他市町村HPについて確認しながら、広報していきたい。

問 「うれしいとき」「悲しいとき」涙が出る。男の子だから、何才でも泣いていけないことはない。誰かに気持ちを聞いてもらうのは、よい考えだ。また、理想とは違う自分の体に悩んでいる人もいる。それは、友だちやインターネット、雑誌、テレビの体はこうあるべきというメッセージからかもしれない。どんなあなたでもステキである。人権とは、人間が人間らしく生きるといふこと。つまり、誰もがみんな自分でこうしたいと思う生き方ができるよりわかりやすくHPにまとめてほしいがどうか。
国保年金課長 より分かりやすいように、HP掲載できるように検討する。

高齢者支援の充実を

問 町全体の陥没の調査や対策として今後の方針があるか。
副町長 安心安全が大事であり可能な限り調査をやっていきたい。迅速な対応を行う。

問 今後の対策はどのようなか。他の事例ではレーダー探査車両調査がある。本町でも出来ないか。
副町長 本部公園付近については確認された空洞に対し工法を検討し、充填等の対策を予定。レーダー探査車両も含め調査、研究をして行く。

問 高齢者・単身高齢者支援の相談窓口はどこか。
保健福祉課長 相談窓口として保健福祉課、包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員や福祉協力員の皆様である。

一こんな質問もしました
津嘉山小学校施設整備の充実
実は十分か
次期町長選挙の候補者選考を聞く



西銘 多紀子 議員

防災無線の課題と伝達手段を問う

答 課題認識し多重配信を強化する



問 防災無線が聞こえないという声を認識しているか。
副町長 気象条件や地形、生活環境等により、防災無線が聞こえにくいとの声を課題として認識している。

問 放送する判断基準はあるか問う。
副町長 警報等はマニュアルに基づき実施し、災害以外については緊急性や生活への影響を踏まえて判断している。

問 スマートフォン型通知システムなど、先進地の事例を踏まえた導入可能性はあるか。
副町長 従来の電話による聞き直しサービスに加え、メールや電話（架電）による多重配信により、緊急情報を伝達していく。



不登校児童の学びの保障を

問 不登校児童の学びを保障するため、端末を全員が保持できる環境を整えるべきではないか。
学校教育課長 学びの保障の観点から端末の活用を勧めているが、保護者の理解や児童生徒の意思を尊重し、希望に応じて持ち帰りや活用を行っている。

問 オンライン等の出席扱いの基準はどうなっているか。
教育長 次の要件を満たし、学校長が認めた場合に出席扱いとなる。
 ① 保護者と学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。
 ② ICTやインターネット、遠隔教育システム、郵送・FAX等を活用した学習活動であること。
 ③ 訪問などによる対面指導が適切に行われていること。

問 オンライン等の出席扱いの基準はどうなっているか。
教育長 次の要件を満たし、学校長が認めた場合に出席扱いとなる。
 ① 保護者と学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。
 ② ICTやインターネット、遠隔教育システム、郵送・FAX等を活用した学習活動であること。
 ③ 訪問などによる対面指導が適切に行われていること。



玉城 陽平 議員

防災計画 断水被害想定は

答 直後3.5万人、1ヶ月後も1.4万人



問 本町の防災計画想定定の地震のうち、被害の大きいものはどのようなものか。
町長 沖縄本島南部スラブ内地震となり、被害想定や断水の想定人数は次の表のとおり。

断水			被害想定	
上水道	直後	3万5103人	全壊	1092棟
	1週間後	3万2105人	半壊	1784棟
	1ヶ月後	1万3759人	予測死者数	13人
下水道	直後	7718人	重症者	104人
	1週間後	2345人	軽症者	381人
	1ヶ月後	56人	停電	3757軒
			断水人口	3万5103人

問 生活被害として、水不足が深刻であると考え、雨水タンクを設置、地域の井戸の再活用のための補助を提案するかどうか。
町長 ガイドラインを踏まえ、本町の避難所運営マニュアル策定に取り組む。



災害時に備えた食品ストック(農林水産省)

災害支援に女性視点を

問 国のガイドラインをもとに、男女共同参画の視点から避難所運営の基準づくりを求めるとはどうか。
町長 ガイドラインを踏まえ、本町の避難所運営マニュアル策定に取り組む。

問 防災会議の女性比率3割以上を目指す中で、母子保健、

以上を目指す中で、母子保健、

④ 児童生徒の理解度に応じた、計画的な学習プログラムであること。

⑤ 校長が、対面指導や学習活動の状況を十分に把握していること。

問 出席扱いの適用実績は。
教育長 オンライン学習で出席扱いを適用した児童生徒について令和6年度実績で3名である。

地域づくりに取り組み協力団体へ支援を

問 団体の活動や課題、工夫を発表し合い、町民にも開かれたプレゼン・報告会の場を設ける考えはないか。
生涯学習文化課長 社会教育関係団体の研修成果を、町民に広く共有する場を設けることは可能である。

一こんな質問もしました
 ・地域交通mobiについて問う

子育て支援、女性福祉など、地域で専門的な役割を果たす方々がいる。女性の声が反映される仕組みを。

町長 那覇市の先進的な取り組みも参考に、委員の配置を検討していく。

学校給食の地産地消を

問 学校給食の地産地消について、金額ベースでどうなっているか。
教育長 副食費1.5億円のうち、0.9%（R6）である。

問 生産者の声を聞き、教育委員会、産業振興課、JANAなどを含めた協議の場をしっかりと持ってほしいがどうか。
町長 解決できそうな課題の部分に関して、可能な小さな形から話し合いの場を作る考えだ。

一こんな質問もしました
 ・商工会の機能強化への支援について問う